

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなる・大豊・本間・河北・佐藤JV

すべての処理施設が本格稼働しました

混合廃棄物の破砕選別設備が完成しました。可燃物・不燃物・土砂が混じった廃棄物の選別が本格稼働し、これで二次仮置場内すべての処理施設が稼働しました。

今後、1日も早い“災害廃棄物ゼロ”を目指し処理を続けます。



完成した混合廃棄物破砕選別設備

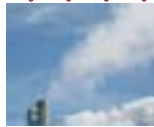
ストーカ炉の性能試験を実施しました

6月26日の9時より24時間、設計通りの性能で焼却できるか試験が行われました。現在、排気ガス、放射能の分析中です。結果は次号で報告します。



混合廃棄物の手選別作業

Q: 焼却炉から白煙が出ていますが、有害な煙ではないでしょうか？



A: 白煙は水蒸気です。排気ガスは炉内では850以上ありますが、ダイオキシン類の生成を抑えるために水で急冷却しています。その際、蒸発した水が煙突から出ています。排気ガスの分析結果は以下の通りです。

山元JV
廣寄統括安全
衛生責任者より
ひとこと



阪神・淡路大震災を経験しましたが、津波被害や放射能被害はありませんでした。災害廃棄物の安全な処理に努め、皆様とともに早期復興にがんばりましょう。

排気ガスの分析結果

有害物	単位	実測値	規制値
一酸化炭素	ppm	3以下	100以下
窒素酸化物	ppm	75	250以下
ばいじん	q/m ³	0.001以下	0.04以下
塩化水素	ppm	26	107以下
硫酸酸化物(K値)	-	1.8	10.2以下
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³	0.000043	0.1以下
セシウム134	Bq/m ³	検出下限値(0.14)以下	{134Cs濃度(Bq/m ³)/20(Bq/m ³)} +
セシウム137	Bq/m ³	検出下限値(0.14)以下	{137Cs濃度(Bq/m ³)/30(Bq/m ³)} 1

7月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【破砕選別工】					
災害廃棄物	運搬、破砕				
津波堆積物	運搬、選別				
焼却灰固不溶化処理	固不溶化				
【搬出工】					
津波堆積土砂	新浜仮置場へ搬出				
コンクリートがら	新浜仮置場へ搬出				
【焼却工】					
キルン炉・ストーカ炉	焼却				
バイオマス発電設備	発電				
【仮設工】					
新浜仮置場造成	盛土、フェンス設置				

焼却灰の放射能濃度

主灰	370 Bq/kg	測定日
飛灰	2000 Bq/kg	6月5日

二次仮置場の空間線量 (μSv/h) 6月21日測定

事務所前	0.03
焼却炉飛灰棟	0.04
木くず	0.05
コンクリートがら	0.05
津波堆積物	0.13
金属くず	0.03
主灰保管テント内	0.09
飛灰保管テント内	0.16

地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています

お問い合わせは
0223-37-7451
まで

発行：災害廃棄物処理業務(巨理名取ブロック(山元処理区))
フジタ・東亜・青木あすなる・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体
〒989-2202 宮城県巨理郡山元町高瀬字浜砂1-4
電話：0223-37-7451